

Google Classroom の資料をダウンロードする方法

iPhone 編

はじめに

Google Classroom (以下、クラスルーム) に掲載された資料 (PowerPoint、Word、PDF、音声など) をタップすると、閲覧モードでファイルが開かれます。Word や PDF の場合、閲覧モードで中身を確認しても大きな問題はありません。しかし、PowerPoint の場合、閲覧モードでは様々な不都合が生じます。

- 例) 1. スライドに埋め込まれた音声再生できない
2. アニメーションが動かない
3. フォントの変更に対応せず、レイアウトが崩れる

また、音声ファイルを聞きながら資料を見たい場合、音声ファイルをダウンロードしてバックグラウンドで再生しながら、資料を見る必要があります。さらに、毎回閲覧モードで資料を開いていると、その都度通信が行われる可能性があり、いつの間にか通信量を消費しかねません。

そこで、ある講義を受講する際には、原則、その回で配布された資料を一度全てダウンロードしてから、受講を始めることをお勧めします。

注意

スマホの場合、OS (iPhone か Android か等) や、他にどんなアプリがインストールされているかによって、スマホ側の反応が変わってきます。以下に説明するのは iPhone 11 (iOS 13.4) で行った結果に基づいています。

Google ドライブが入っているかどうかで、手順が結構違うようなので、Google ドライブが入っていないバージョンと入っているバージョンの 2 種類の説明を用意しました。自分の状況に当てはまる方の説明を読んでください。

なお、Google ドライブのアプリをインストールしておいた方が、手順が少なくて済みます。Google ドライブのアプリもインストールしておくことをお勧めします。

Googleドライブが入っていないバージョン

PowerPoint 以外のファイルをダウンロードする場合

1. ダウンロードしたいファイルの選択



①これは説明のために作成した仮のクラスです。説明のために色々な種類のファイルをアップロードしています。

実際の授業では、各先生がつけた名前の、必要なファイルのみが表示されます。

まずは、pdf ファイルをダウンロードしてみましょう。pdf ファイルのアイコンをタップします。



②すると、クラスルームアプリの閲覧モードでファイルが開かれます。この状態ではまだダウンロードできていません。

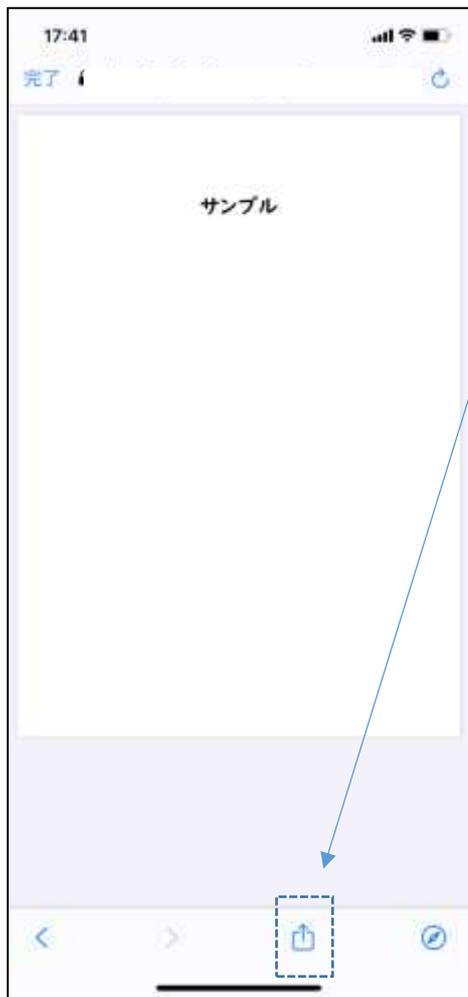
右上にある外部リンク(別のアプリで開く)アイコンをタップします。

2. ダウンロードできるようにする



③すると、クラスルームから Google ドライブにアクセスしてファイルを表示します。この状態ではまだダウンロードできていません。

上部にある、ダウンロードアイコンをタップします。



④今度は、先ほどと色以外大して変わらない状態に変わります。

これでようやくダウンロードの準備ができました。

画面下部の「送る」アイコンをタップします。

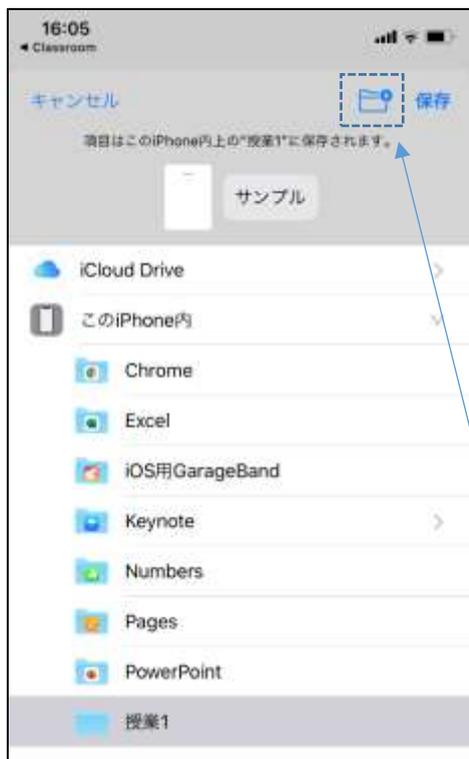
Word、音声ファイルの場合、この見え方が異なります。中央にファイルの中身は表示されず、ファイルのアイコンだけが表示されます。下部の「送る」をタップします。



⑤すると、どのアプリを利用するのか選択するメニューが表れます。

ここで「“ファイルに”保存」を選びます。

3. 保存先を選択する



⑥すると、保存先を指定するよう求められます。

保存先は、皆さんのスマホによって大きく違ってくるので、この画像と違っていても慌てないでください。

今は例として「授業1」としていますが、後からファイルが探しやすい方が良いので、授業名のフォルダを新しく作成し、授業ごとに管理すると良いでしょう。

新しいフォルダを追加した時は、画面右上のアイコンをタップします。

4. 保存したファイルを開く



⑦iPhone に保存したファイルは、画像のような「ファイル」アプリから探すことができます。

今回は⑥で「授業1」というフォルダを作り保存したので、授業1に保存したファイルがあります。

下の画像は他のファイルも保存してから撮影したので、色々あります。



PowerPoint ファイルをダウンロードする場合

1. ファイルの選択



①PowerPoint でも途中までの手順は同じです。ファイルをタップします。



②すると、クラスルームアプリの閲覧モードでファイルが開かれます。この状態ではまだダウンロードできていません。

右上にある外部リンク(別のアプリで開く)アイコンをタップします。

タップ後の挙動が PowerPoint のときだけ異なります。



③自動的に Google ドライブは開かれず、どのアプリで開くか尋ねられます。Safari 以外のブラウザを入れている人は、他の選択肢も表示されるかもしれません。

ここで、Safari や Chrome などのブラウザアプリを選びます。

Google スライドは使いません。



④これで Google ドライブにアクセスして閲覧できる状況になりました。

Google スライドをインストールしていないと、ここでもスライドを勧められますが、無視します。「今はしない」を選択。

補足説明

Google スライドは、Google が提供するプレゼン支援アプリです (PowerPoint みたいなもの)。

Google スライドには、スライドに音声が入り込められていてもそれを再生できない等、機能の制限があるようです。

よって、遠隔授業を受講するにあたっては、Google スライドを使わないことを推奨します。



⑤「今はしない」を選ぶと、隠されていた下部のメニューが表れます。

そこで、歯車のアイコンをタップします。



⑥歯車のアイコンをタップすると、メニューが表示されるので、「その他」を選びます。



⑥「その他」の選択肢の中から、「PPTX形式でダウンロード」を選びます。



⑦これで、他のファイルの手順④と同じ状態になりました。後は、他のファイル同様、画面下部の「送る」アイコンをタップし、ダウンロード先を選択して保存すればOKです。

Google ドライブが入っているバージョン

Google ドライブが入っている場合、基本的な方法はファイルの種類に関わらず同じです。私の環境だと、PowerPoint ファイルをダウンロードする時だけ、少し他のファイルとは違いました。

1. ダウンロードしたいファイルの選択



①これは説明のために作成した仮のクラスです。説明のために色々な種類のファイルをアップロードしています。

実際の授業では、各先生がつけた名前の、必要なファイルのみが表示されます。

まずは、pdf ファイルをダウンロードしてみましょう。pdf ファイルのアイコンをタップします。



②すると、クラスルームアプリの閲覧モードでファイルが開かれます。この状態ではまだダウンロードできていません。

右上にある外部リンク(別のアプリで開く)アイコンをタップします。

2. Google ドライブからスマホにダウンロードする



③Google ドライブがインストールされているスマホだと、②で外部リンクをタップしたら自動的に Google ドライブでファイルが開かれます。まだスマホ本体にはダウンロードされていません。「その他」を示す「…」のアイコンをタップします。



注意

PowerPoint ファイルの場合、自動で Google ドライブは開かれず、画像のように、どのアプリで開くか選ぶよう求められます。

ここで Google ドライブを選べば、以降の操作は他の種類のファイルと同じです



④「その他」をタップすると、下からメニューがせり上がってきます。

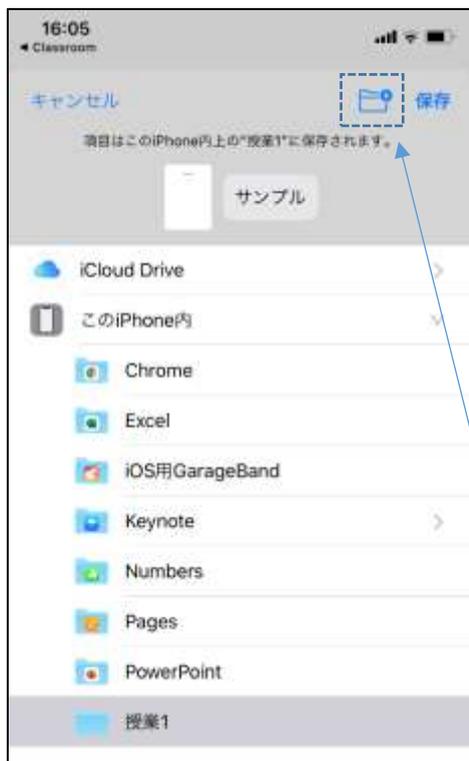
ここで「**アプリで開く**」を選びます。



⑤「アプリで開く」を選ぶと、どのアプリで開くか選択できるようになります。

ここで「“ファイルに”保存」を選びます。

3. 保存先を選択する



⑥すると、保存先を指定するよう求められます。

保存先は、皆さんのスマホによって大きく違ってくるので、この例と違っていても慌てないでください。

今は例として「授業1」としていますが、後からファイルが探しやすい方が良いので、授業名のフォルダを新しく作成し、授業ごとに管理すると良いでしょう。

フォルダの新規作成には、画面右上のアイコンをタップします。

4. 保存したファイルを開く



⑦iPhone に保存したファイルは、画像のような「ファイル」アプリから探すことができます。

今回は⑥で「授業1」というフォルダを作り保存したので、授業1に保存したファイルがあります。

下の画像は他のファイルも保存してから撮影したので、色々あります。

